

フルミスト(経鼻インフルエンザ生ワクチン)接種について

<接種方法>

鼻の中に液を噴霧するワクチンなので従来の不活化ワクチンの皮下注射と異なり痛みはありません。

しかし、鼻水が多い、泣いてしまう、といった場合には十分な効果が得られない場合がありますので、お子様には可能な限り保護者の方からご説明いただき、出来るだけ良い状態で受けられるようにご協力をお願いいたします。

<予防効果>

インフルエンザの不活化ワクチンが A 型 2 種類、B 型 2 種類の 4 種類の株が入っているのと同様に、フルミストも 4 種類の株が入っています。

不活化ワクチンとの違いは、直接鼻腔に免疫をつけることが可能であるため、従来の不活化ワクチンで得られる抗体以外の気道粘膜での免疫を誘導することが可能になり、予防効果が高いと考えられます。

また、生のウイルスを弱毒化した生ワクチンであるため、流行するインフルエンザと株が違ってても、効果が出て、発症を軽症化させることが期待できます。

しかし、100%かからない、ということではありません。

また、従来の不活化ワクチンの予防効果が 4 ヶ月程度であるのに対し、約 1 年の有効期間があり、効果が長く持続するといわれています。

<接種回数>

過去にインフルエンザに罹患、または、インフルエンザワクチンを接種したことがある場合は 1 回

上記に該当しない場合は、不活化のインフルエンザワクチンを 1 回ないし 2 回接種してください。

また、他の予防接種との同時接種は行っておりません。

フルミストは生ワクチンですので、他の予防接種はフルミスト接種後 28 日以上間隔をあけてから接種してください。

<接種料金>

1 回 9,000 円(税込み)

<接種できない人>

- 2歳未満、50歳以上の方
- 5歳未満の方で、喘鳴(ゼーゼー)歴があった方や、1年以内に喘息発作のあった方
- 免疫不全患者(抗がん剤治療を受けている人や、そういった患者様をケアする立場にいる介護者の方)
- 心疾患、肺疾患、喘息、肝疾患、糖尿病、貧血、神経系疾患などの慢性疾患を持つ場合
- アスピリンを服用中の方
- 重度の卵アレルギーやゼラチンアレルギー、ゲンタマイシン、アルギニンアレルギーの方
- 現在、風邪をひいていたり、鼻炎のひどい方
- ギランバレー症候群に罹患したことがある方
- 9歳未満で、いままで一度もインフルエンザワクチンを接種した事がないか、インフルエンザに罹患した事がない方。

<副反応について>

生ワクチンですので30~40%の方は接種後3日~7日まで鼻炎症状が出現し、その他、咽頭痛、咳など軽い感冒症状を数日認める場合があります。

ごくまれに、発疹、じんましん、アナフィラキシーショック、ギランバレー症候群などの重篤な副反応を起こす可能性は、他のワクチン同様否定できません。

フルミストは国内未承認の輸入ワクチンであるため、公的な補償制度は適用されません。そのため、フルミストワクチンによる健康被害が起こった場合、重篤な場合も含めて自己責任となります。

また、当院では、他のワクチンとフルミストの同時接種は行いません。なぜなら、国内承認済のワクチンは公的な補償制度がありますが、フルミストと同時接種を行った場合、万一、予防接種による健康被害が生じたときに、補償が受けられなくなる可能性があるためです。

フルミストは2003年にアメリカ食品医薬品衛生局(FDA)に認可されたワクチンで、アメリカでは10年以上の安全な実績があります。2011年からヨーロッパでも認可され発売されておりますが、日本では2022年10月現在、未承認です。

<当院での使用ワクチン>

製品名：FluMistQuadrivalent

製造元：AstraZeneca

輸入元：Thubame Labo